

科目担当者氏名		科目担当者連絡先（メールアドレス）	
對馬路人		michi@kwansei.ac.jp	
連絡責任者氏名		科目設置機関名	
金 明秀		関西学院大学 社会学部 社会学科 社会福祉学科	
授業科目名	科目認定番号	受講者数	
社会調査実習I	KSGa-110718-0	19人	

I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：

学生は調査地域や調査対象の選定や調査テーマや内容について議論に参加し、その企画全体に関わった。演習時に調査対象についての事前学習の報告を行い、一部の調査対象については、相手との事前の折衝にもかかわった。現地調査では、観察、参与観察やインタビュー調査に携わった。終了後、それぞれの調査対象ごとに報告の担当を決め、順次報告会をもった。その報告を基に、報告書の執筆を行った。今回の香港調査では、現地の事情に詳しい中国研究者の日本人通訳の援助により、現地でのインタビュー調査をスムーズに行うことができた。

II. 調査の企画・設計（デザイン）

1. 調査のテーマ／領域：

日本をはじめ東アジアの諸地域は、経済の急速な発展や、グローバル化の進展により激しい社会変化を体験している。それらがそれぞれの地域の宗教状況にどのような影響を及ぼしているのか、それらに対して宗教はどう対応しているのかという問題がテーマ。研究領域は宗教社会学。

2. 調査の内容／概要：

今回の実習は香港と沖縄を主な調査地とした。それぞれ現地で活動している宗教団体や、現地で実践されている宗教習俗について、その活動の実態や現地社会及びそこで生活する人々にとってそれらが果たしている社会的意味、影響について調査し、それらと現地の社会変動との関係を明らかにする。

3. 調査の範囲／対象（量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入）：

香港、沖縄いずれの地域の場合も、在来宗教の持続と変容、外来宗教の流入と定着の両面から事態を明らかにするために、在来の主な宗教及び宗教習俗と比較的新しく現地に入った外来の宗教の双方から対象を選んだ。香港については、先祖祭祀、民間の寺廟、道教の道観、仏教寺院、キリスト教会を、沖縄については、聖地（御獄）、地元のシャーマン、キリスト教会、比較的最近日本から流入した新宗教や仏教寺院を対象に取り上げた。

4. 主な調査項目：

それぞれの宗教や宗教習俗が、現代の地域の人々とのようにかかわっているのかという点に特に焦点を併せて調査した。それぞれの宗教（習俗）の歴史的な沿革や基本的な教え、修行、儀礼（行事）。現在行われている宗教的、社会的活動の種類と内容やそれらに対する人々の関わり。現地での社会変動とそれらの関連性。特に外来宗教については、現地への流入の経緯や背景、現地での定着の戦略と定着の様態。

III. データ収集の方法と結果

5. データ収集（現地調査）の方法：

現地に出向いてのフィールド調査。研究テーマ、調査対象に関連する文献のからの情報収集。インターネットでの調査対象に関する情報収集。現地での施設見学、行事や集会の参与観察、及び関係者、集会参加者へのインタビュー。現地で入手した文字や映像資料を通じた情報の収集。

6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：

香港調査は香港島、九竜、新界の各所で、日程は8月22日～8月27日、調査員は7名。沖縄調査の調査地は沖縄本島内各地で、日程は11月20～11月24日、調査員は12名。

7. 収集したデータの量と質への評価（量的調査の場合は有効回収票及び回収率を必ず記入）：

調査対象により収集できたデータの量や質にはばらつきがあるが、香港では道観や日本から来たキリスト教会、沖縄ではキリスト教、本土から来た仏教、新宗教に関し、観察、インタビュー、現地提供資料などの面で有益な質的並びに量的なデータを多く得ることができた。

IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析／解釈の方法：

現地の在来宗教（習俗）については、それが当地の社会変動とのかかわりでどのように持続、あるいは変容したのか、外来の宗教については、社会変動との関係で現地にどのように定着できたのかという観点からデータの分析や解釈を試みた。

9. 調査の成果（調査から得られた主な知見など）：

香港、沖縄いずれの地域についても、外来宗教の活発な浸透や活動が目立つこと、また在来、外来を問わず葬祭の慣行の変化に対応する香港の道観や沖縄の仏教寺院の対応など、現代的な社会変動のもたらす社会的な課題に積極的な対応を行っている宗教の活躍が目立つことが分かった。

10. 報告書刊行の予定と概要：

香港、沖縄の主な調査対象について、その調査の結果をまとめた調査報告書を作成する。